

技術フォーラム ニュース

講演会：外交官及び東宮侍従として感じたこと

日時: 令和 3 年 11 月 27 日(土) 10:00~11:50

場所: 港区立新橋生涯学習センター

講師: 竹元正美(たけもと まさみ)様

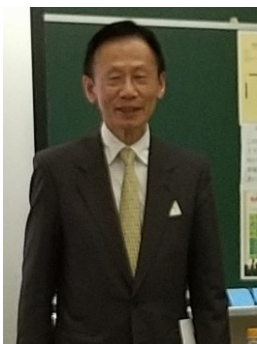
一般社団法人 国際文化教育協会 理事長
元ホンジュラス大使、元ウルグアイ大使、
元東宮侍従、元式部副長

主宰者挨拶

技術フォーラム理事長 原田敬美(前港区長)
工学博士、技術士(建設部門)、一級建築士

当 NPO 法人のメンバーは、ほとんどがエンジニアですので、通常業務ではエンジニアが知れない世界や分野のことを、その道の専門家の方々を招いて、ご講演いただき、メンバー各位が新しい知識に触れることによって、教養を深めるためにこの講演会を企画しています。

本日、ご講演いただく竹元正美様は、1970 年(昭和 45 年)に外務省に入省され、外務官僚としてのキャリアを積ま



原田理事長

れたあと、東宮侍従、式部副長を歴任されて、皇室に係るお仕事をされ、さらに、ホンジュラス共和国とウルグアイ共和国の大使を務めてこられた方です。本日のご講演では、普段私たちが知らない、皇室や外交に係るお話をさせていただきます。

講演の要旨

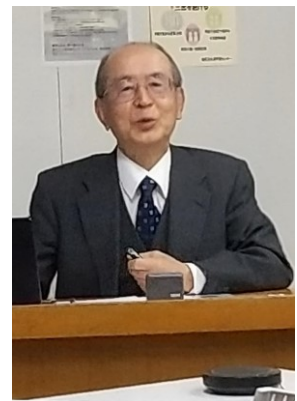
外務省入省からアメリカ留学

最初の赴任地が隣国の韓国、最後の任地が日本から最も遠いウルグアイでした。入省後、短期間でしたが沖縄返還交渉のお手伝いをしました。安全保障課では、国会議員の質問取り、答弁資料作成など。檜崎弥之助、大出俊など迫力ある国会議員からの国会質問が印象的でした。アメリカ、ドゥルー大学大学院に留学、修士論文のテーマは、「ニクソンドクトリンと日本の安全保障」でした。

皇室との関わり

1986 年~88 年東宮侍従、1989 年大喪の礼、1990 年即位の礼、2004 年~07 年式部副長を勤めました。上皇陛下の皇太子時代、浩宮様と岩手県にスキーに行かれた際、随行しました。お泊りは学習院大学の寮、食事は地元のご婦人方による料理でした。カレーライスなど。

宮中には、年間数十件の祭儀があり、天皇皇后両陛下は常に国の繁栄と国民の幸せを祈っておられます。最も重要な祭儀は 11 月 23 日の新嘗祭です。一番ご多忙なのは元旦とお誕生日です。また、1 年のうち、沖縄戦終結の日、広島、長崎の原爆投下の日、終戦の日の 4 日間は、必ずお祈りを捧げる大切な日です。



竹元正美先生

上皇陛下の皇太子時代のご訪米及び礼宮殿下のブラジルご訪問に随行しました。タイ及びスペインでは、平成の天皇・皇后両陛下を現地でお迎えしました。秋篠宮殿下のタイご訪問、紀宮殿下のホンジュラスご訪問及び高円宮妃殿下のウルグアイご訪問も現地でお迎えしました。

2011 年東日本大震災後、計画停電が実施された際、天皇陛下は、公平性を重んじ、御所の電気を自ら止められ、自主停電を実行されました。天皇皇后両陛下は、質素な生活で、常に、公平性を重視され、日本国民および世界の人々の幸せを願い、祈っておられます。

外交官の仕事

1999 年~2001 年ヒューストンの総領事時代、ブッシュとゴアの接戦となった大統領選挙をブッシュのお膝下であるテキサス州からフォローしました。票の集計方法について、本来の民主主義であれば疑問がある場合、手作業による再集計を最後まで行うのが本来の姿と思いましたが、実際には、連邦最高裁の判断で再集計は途中で中止され、ブッシュの勝利が確定しました。また、テキサス州フレデリックスバーグで太平洋戦争博物館開館式に出席しま

した。そのとき、このような歴史事実を学べる博物館が日本にも必要であると感じました。

2001年～2004年ホンジュラス大使時代

ホンジュラスは観光資源が豊かで、チョコレート発祥の地でもあり、気候は温暖、民族対立もなく、勤勉な国民性です。しかし、中南米最貧国の一つで、その原因に「教育」があると感じました。ちょうど、日本で小泉純一郎首相が国会で取り上げ、有名となった、幕末長岡藩の故事「米百俵」を紹介しました。そして、現地の日本人会、インフラ建設に携わっていた(株)ハザマ(当時)などの協力で、舞台設営、着物など用意し、国立演劇学校の熱意で「米百俵」の芝居をスペイン語で上演し、たいへん評判となりました。



ホンジュラスで上演された「米百俵」

また、ホンジュラスを訪問された紀宮様も観劇されました。同じ、中米のエルサルバドル、ニカラグア、コスタリカでも上演されました。更に、米百俵学校 100 校建設プロジェクトへと発展し、すでに百数十校が出来ております。



ホンジュラスに建設された「米百俵学校」



「米百俵学校」100校完成祝賀式
中央の女性はゲバラ大統領代行(当時)

2007年～2010年ウルグアイ大使時代

ウルグアイは民主主義、治安、民度、教育、福祉、透明度などで南米 No1 の国家です。ヨーロッパから戦乱を逃

れ平和を求め移住した白人が多い国家です。気候も良く過ごしやすいところです。現地で花卉栽培を指導した園芸家の庄野貞雄氏は「人間の住む最高のところとして神様が作ったのではないか」と言いました。かつては、中南米のスイスであるといわれました。また、サッカーの古豪です。1930年第1回ワールドカップの開催地となり、そこで優勝、それ以前の1924年、28年のオリンピックで金メダルを取っています。さらに、タンゴ、牛肉(アサード)、赤ワイン(タナットワイン)、マテ茶が有名です。先ほども、申し上げましたが、2008年に高円宮妃殿下が訪問されました。



ウルグアイの牛肉料理(アサード)

「世界一質素な大統領」

2010年から2015年まで大統領を務めた、ホセ・ムヒカ氏は「世界一質素な大統領」として有名です。2012年の「国連持続可能な開発会議」において、「私たちは発展するために生まれてきたのではない。幸せになろうと思って生まれてきた。」との演説は世界中に感動を呼びました。ムヒカ氏は2016年に来日されましたが、その時、東京外語大学で「政治家にとり、人を愛する気持ちを持つことが重要。お金を欲しがめる人が政治家になろうとすることが問題。政治家に高い給料はいらない。政治家に失望すれば政治家を自由にしてしまう。」と講演しました。



ムヒカ大統領夫妻と竹元先生

外交の重要性

外交の重要性は「戦争にならないようにすること、いかに負けない戦争をするか、戦争をいかに早くやめるか」であり、外交官の資質として必要なことは「誠実」であると考えています。

(了)

地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

◎ 特定非営利活動法人(NPO 法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO 法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
 - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
 - ② ホームページ、メールによる情報提供
 - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

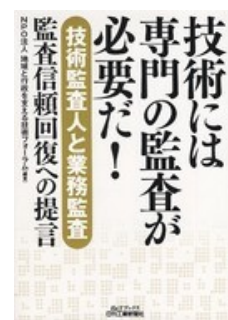
◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

◎ 十数年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。新型コロナウイルス環境下の昨年は、資料とメールのやり取りのみで行った技術調査でも高い評価をいただいております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



当フォーラム編者の書籍

◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「性能仕様書による発注業務の劇的な改善」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。この秋季号では、11月27日に開催した、一般社団法人 国際文化教育協会理事長 竹元正美様をお願いして「外交官及び東宮侍従として感じたこと」のご講演をしていただきました。

次回、2月の勉強会は、昭和大学名誉教授(脳神経外科)、昭和大学藤が丘病院副院長を歴任され、現在、さがみりハビリテーション病院顧問、東京工業大学非常勤講師の藤本司様に、「加齢による脳の障害のメカニズムと認知症」(仮題)というタイトルでご講演いただきます。誰でも年を取ると、認知症になる可能性があります。藤本先生は脳内の血管、神経等、脳の構造の研究では日本の誇る権威です。講演会では、脳内神経の病気によっておこる認知症のメカニズムを知り、認知症にならないための予防法、リハビリについてお話していただきます。

ニュースレターのバックナンバーは、URL(<http://www.efasca.jp/forum.htm>)でご覧頂けます。

今後とも、皆様方の声をもとに講演内容を考えていきたいと存じます。これからの講演内容についてのご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール info.efasca@efasca.jp

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美